



新生 ITT の誕生

第一章



表紙の ITT 製品

自動車用ブレーキパッド	石油掘削設備用堅牢海中コネクタ
化学品およびその他の浸襲性液体処理用インテリジェントモニタリングセンサー搭載ポンプ	工場敷設およびオートメーションシステム用エネルギー吸収ショックアブゾーバ

本冊子について

本冊子は 2011 年の ITT Corporation 業務再編を記念して作成されたものです。これは当社の長期にわたって積み上げられた歴史の、もう1つの道標です。当社は、水事業から防衛産業にいたるまで多くの業界を幅広くサポートする企業から、より専門的、かつ機敏な組織へと進化しています。その一方で、前向きなビジョンを持ち、多くのグローバルな顧客のために重要なコンポーネントと高度にカスタマイズされたソリューションの提供に集中することも忘れていません。

タイトルについて

本冊子のタイトル – 第1部 – には、自動車、テレビから発電所や衛星に至るまで、日常使われる高度なアプリケーションの一部である重要なコンポーネントの価値あるプロバイダであるという、当社の重要な役割が反映されています。また、当社の歴史の第1部 – 当社が現在の地位に至った経緯 – を伝え、将来さらに偉業を成し遂げるためにどのような位置づけにあるかを示しています。



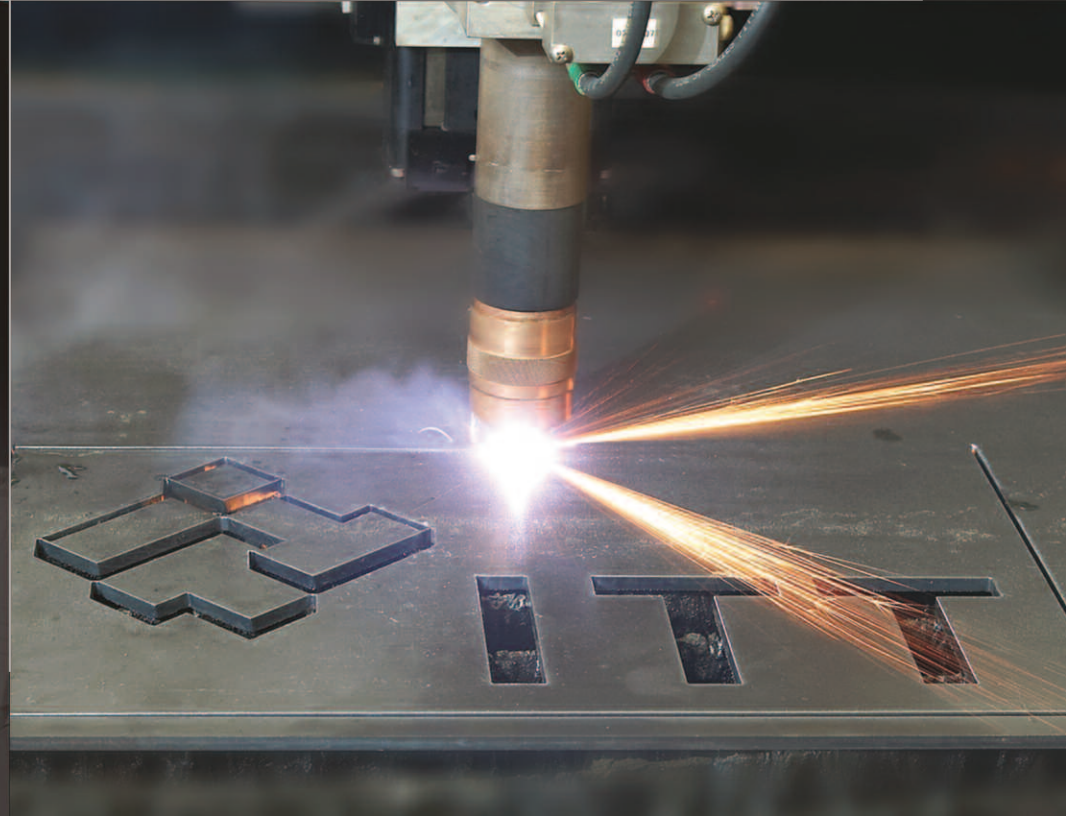
はじめに 2

起源 6

高度なエンジニアリング 14

ITT Way 22

次のステップ 30



A close-up photograph of a human hand with the index finger pointing upwards. The finger is positioned directly over a circular button or sensor. The button has a dark outer ring and a lighter center. The background is a plain, light-colored surface.

ITT

とは活動を意味する言葉

つまり...

進み、流れる

扱う

停止、保存

移動、倒す

削減

接続

制御

処理

押す、引く

開閉

そして長期間継続すること

かくして当社は「*Engineered for life*」なのであります。



ITT は、オランダのロッテルダムにあるエラスムス橋(写真)を含めて、世界中で建物および橋を安定させるためのショックアブソーバおよびダンパーを設計しています。

適応性

ITT Corporation の歴史と未来は直線的ではありません。それは、A 地点から B 地点へ一直線に進むものではありません。

私たちは可能性に目敏い企業であり、大胆な行動を起こすことを望み、ITT とその顧客を新しくエキサイティングな方向に導く道筋を見つけ、これに従います。

2011 年は ITT Corporation にとって、次の新たな冒険の始まり、すなわち第 1 部となる記念すべき年です。当社の水事業および防衛産業のスピンオフにより、ITT はお客様の独創性を把握し、最も困難な技術的問題を解決するために不可欠な部品事業を追求することに集中するようになりました。

当社の部品は非常に大きな構造物、機械、車両、製造プロセスの一部など、見えない部分であることが多いのですが、当社の貢献は計り知れないほどの価値があります。当社は、世界を動かし、人々が飛び、運転し、通信し、探索し、そして健康を維持することに役立つ高度に技術検討された部品を製造しています。当社の従業員は熱意とやる気に満ちています。彼らはお客様の問題の核心を捉え、持続するソリューションを提供します。

ITT の社名には然るべき重みが引き継がれています。当社のブランドは、必要とされるものを必要とされる時に提供するという評判を確立しました。それが遡ること約 1 世紀の当社の歴史を通じた特徴です。

当社は昨日と同じ会社ではありません。そして明日も同じ会社にはなりません。私たちは時機とお客様に合わせて変化します。このようにして、偉大な企業は成長します。真の革新と驚異的な金字塔に溢れ、長期にわたって積み重ねられた資産の上に構築された新生 ITT Corporation は、私たちが過去に共有した最高の部品を活用し、広く開かれた未来に向かって次の重要な一步を踏み出すでしょう。

「当社の歴史の各章を通じて、ITT は変革の戦略によって株主のために価値を創造することで知られています。2011 年の変革は、当社の共通の歴史の中で最高の一章となる、いまだかつてない大きな機会を提供するものです。」

最高経営責任者、Denise Ramos
ITT Corporation



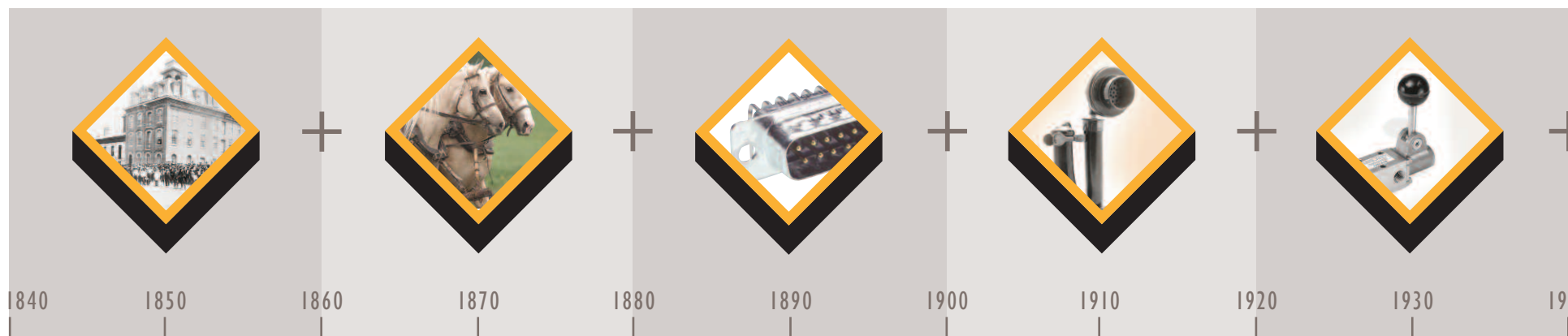


起源

全ての始まりは
ここから

ITT は、そのルーツを世界初の全鉄製ポンプに辿ることができます。それは 1849 年のこと、強度、耐性、効率性を併せ持つ画期的な金属の製造が、腐食性流体にも耐えられるポンプを世界に送り出し、木製ポンプを一夜にして時代遅れにしました。その水ポンプこそが、後に ITT の一部となる企業の Goulds Pumps 社の始まりでした。その後 Goulds Pumps 社は製品ポートフォリオを拡張し、石油・ガス、発電、採鉱などの重工業用途やプロセスに利用される高度に技術的検討されたポンプを含むようになりました。





工業用ポンプおよびバルブ

1848: Seabury Gould が、ニューヨーク州セネカフォールズの木製ポンプ製造業者の所有権を買収し、その後1年以内に世界初の全鉄製ポンプの製造を開始。**1939:** 初のダイヤフラム弁が Ginnell 社 (後に ITT に合流) によって製造される。**1997:** Goulds Pumps 社が ITT と合併し、工業用ポンプおよびバルブに特化した世界最大の流体技術装置企業となる。

ショックアブソーバ

1857: KONI 社がオランダのアウト・ペイエルラントで革製の馬用ハーネスおよび装飾品の販売を開始。**1918:** 自動車用ラジエータおよびスプリングカバーの生産に切り替える。**1932:** KONI 社が摩擦式ショックアブソーバの生産を開始。**1950:** 国際的な事業拡大を開始。**1972:** KONI、ITT グループに合流。

電子部品コネクタ

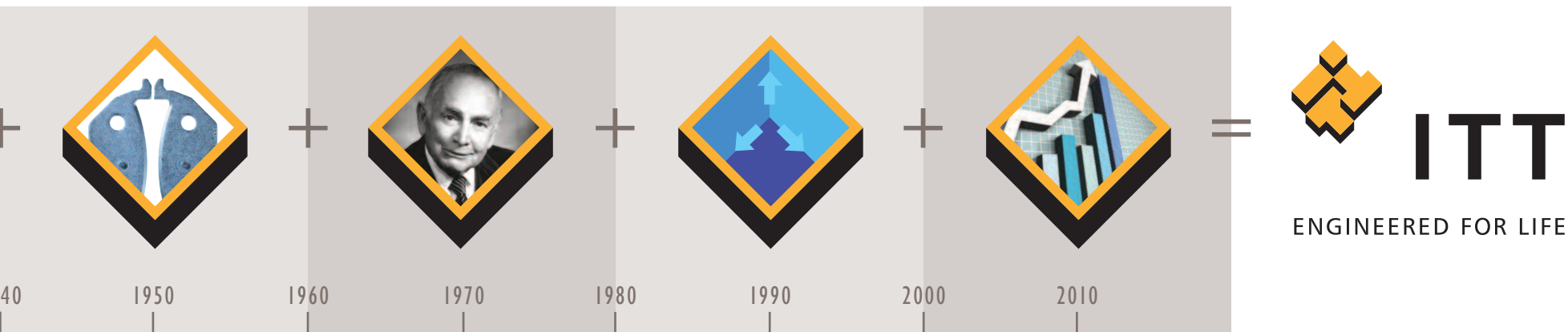
1915: Cannon が小さな電気専門店としてカリフォルニア州ロスアンジェルスで創業。**1923:** Cannon が携帯式肉挽き器のアース用として初の M 型プラグを開発。その成功により会社の方向性が定まり、長い年月にわたり数多のコネクタを生むことになる。**1967:** Cannon が ITT により買収される。

ITT の始まり

1920: プエルトリコを拠点とする電話会社の International Telephone & Telegraph 社として ITT が誕生。**1959:** 電話交換機および通信サービスの大手国際プロバイダに成長し、新 CEO に Harold S. Geneen を迎えて多業種企業として新たな道を歩む。

動作制御デバイス

1936: バルブメーカーの General Controls 社 (Aerospace Controls 部門を含む) が 1963 年に創業し、後に ITT に買収される。**1966:** ショックアブソーバメーカーの Integrated Dynamics Inc. 社が創業し、社名を Enidine に変更した後、Enidine およびその他の企業が株式保有する International Motion Controls 社となり 2007 年に ITT に買収される。



摩擦製品

1950: Friction Technologies 社がイタリアのトリノで創業し、乗用車およびトラック用の摩擦材料およびブレーキパッドを生産。**1962:** バルジェ近郊に2番目の工場をオープンし、後に主要な生産拠点となる。**1977:** Friction Technologies 社、ITT グループに合流する。

買収の年

1960: Harold S. Geneen CEOの下、ITT はホテルチェーンからペーカリーに至るまで2週間に一度のペースで企業を買収し、世界初の真のコングロメリットの1つとしての評判を獲得。**1977:** 350 の企業買収の達成、200 億ドルに近づく売上高、増え続ける負債により、売却の開始が決定。

最初の分割

1995: ITT が3つの独立した企業に分割される。1社はシェラトンホテルおよびゲーム事業を継続。もう1社はハートフォード保険事業を継続。ITT Industries は工業事業を継続。**2006:** ITT Industries は ITT Corporation と名称変更して再生。

価値創造の年

1995-2011: ITT の歴代 CEO により、戦略的売却および買収による一連の事業再編が始まる。また、共通の ITT ビジョンと価値、成功した ITT 管理システムを構築し、当企業を世界トップクラスの財務実績を誇る、企業責任のリーダーたらしめた。

事業再編

2011: 歴史は繰り返し、ITT は再び3つの独立した上場企業に分割。水事業および防衛産業はスピンオフし、ITT Corporation は現在も高度にエンジニアリングされた部品を提供する多業種企業として継続。当社のルーツに忠実で当社の未来に集中した ITT の再生は、優れたエンジニアリングおよびオペレーション、強力な価値とリーダーシップ、製品革新と卓越した顧客満足に専心する。

パイオニア

現在の ITT を構成する事業は様々な時代に世界の様々な地域で誕生したのですが、そのどれもが問題解決の優れた方法を発見したことから誕生したものです。創業者は、自分の発明が将来より大きく優れたものの一部になるとは想像すらしていませんでした。彼らはひたむきに、されど心は疾走しつつ、ひたすらビジョンを追究し、世界に意義ある貢献を行える企業を設立することに多忙でした。

1848 年、**Seabury S. Gould** は、ニューヨーク州の小さな町セネカフォールズにある木製ポンプ会社を買収しました。その1年後、ゴールドラッシュにより多くのアメリカ人が西へ向かい、それによって Seabury は、金を求める「フォーティナイナーズ」および開拓者に強度、耐性、効率に優れた水を運ぶ術を提供する全鉄製ポンプを発明しました。このポンプは瞬く間に鉄道業者、鉄鋼メーカー、科学者に採用され、世界中の技術革新に貢献し、Seabury はその需要を満たすために Goulds Manufacturing Company を立ち上げました。

これが ITT の Industrial Process 事業の始まりです。



1857 年、オランダのアウト・バイエルラントで **Arie de Koning** がハンドメイドの革製の馬用ハーネスと装飾品の店をオープンしました。将来、自動車の時代がやってくると確信した彼は、その店の高品質のクラフトマンシップを新しい方向に向けました。会社は自動車用ラジエーターおよびスプリングカバー、金属製カーパネル、そして摩擦式ショックアブゾーバの製造を開始しました。でこぼこの路面でも滑らかに感じさせることができたため、KONI のショックアブゾーバは自動車メーカーおよびドライバーの間で瞬く間にヒットし、同社はその焦点を完全にショックアブゾーバにシフトしました。

これが ITT の Motion Technologies 事業のショックアブゾーバ部門の始まりです。



1915 年、多くのアイデアに満ち溢れた **James Cannon** は、自分の実験的なアイデアを製品化し販売するために、ロスアンジェルスダウンタウンの一角に小さな電気専門店のスペースを買い上げました。3年後、このスペースは無くなってしまいましたが、彼の発明のひらめきは残っていました。彼は友人から 100ドル借り、裏庭の物置に引っ越して電気トースターからナースコールシステムに至るまであらゆるアイデアを生み出しました。そして1923 年、彼はついに4極 M 型プラグを発明したのです。このコネクタは彼の会社と革新的なエレクトロニクス産業を一段高い位置へ押し上げるきっかけとなりました。

これが ITT の Interconnect Solutions 事業の始まりです。

1966 年、ニューヨーク州北部のとあるガレージで、**Patrick Lee**、**Ben Houghton**、および**Rudy Nutz** の3名の起業家が建築物および機械のショックアブゾーバ製品を生産するために Integrated Dynamics, Inc. (IDI) を立ち上げました。10年後、成長した企業はその名を Enidine に変えました。元来の社名 IDI の前後に “en” および “ne” を付けた Enidine は、前から読んでも後ろから読んでも全く同じであり、入ってくる運動エネルギーを熱エネルギーに変換して外に出す同社のショックアブゾーバおよび防震製品を表現しています。

これが ITT の Control Technologies 事業の始まりです。

1950 年、何年にもわたり、自動車メーカーは回転するタイヤに圧力をかけて車を減速させるためにブレーキドラムを使用していました。これは、濡れた路面ではオーバーヒートの原因となり、問題でした。1950年、2名のイタリア人起業家 – **Giuseppe Gallo** および **Alberto Ferrandino** – が、初めて湾曲形状の薄型ブレーキパッドを生産しました。摩擦材料を組み合わせ製造されたこのブレーキパッドはブレーキドラムを凌ぐ性能を持ち、自動車がより早くより安全に停止するために役立ちました。この企業はイタリアのトリノで操業を開始し、事業が成長するにつれてバルジェ近郊まで拡張しました。

これが ITT の Motion Technologies 事業の始まりです。



収束

世界中の地下鉄および電車において、ITT のコネクタは車輪やアクセルに電力を送り、車両から車両へ電気が流れることを可能にしています。

ITT の起源は、第二次産業革命からコンピュータ時代までの 100 年以上に及びます。当社のポートフォリオにある事業は、まだ馬車が主要な輸送手段であった時代に始まったものもあれば、ロケットが宇宙に飛び立つ時代に始まったものもあります。

その期間、当社は買収を通して拡張を続け世界最大の企業の一社となり、その後、ウォールストリートの多業種企業の中でトップクラスの財務実績の位置を達成することに焦点を絞りました。私たちは大勢についていくことはしませんでした。その代わり、当社は自ら道を切り開き、共有管理のアプローチと事業間の相乗効果から価値を生成するという多業種企業のコンセプトを洗練することに貢献しました。

ITT の中核企業は 90 年前に誕生した電話機器およびサービスのプロバイダであり、国際企業としての現在の当社の基盤を築きました。しかしながら、その会社は遥か以前になくなっており、今日私たちはその後 ITT に加わった事業によって自らを定義し、お客様の、そして世界の重要なニーズを解決することに団結して臨んでいます。

小川が大河に流れ込むように、現在の ITT を代表する事業は相互に繋がっています。それらは長い時間をかけて一つになったものであり、戦略的展望を備えています。それぞれの事業が重要な岐路で ITT に加わり、新しい親会社、そして新しい ITT パートナー企業に対しても直ちに継続的な貢献を行いました。

私たちは一つ一つを足したものより多くの価値を有しています。当社の事業の中心には、鼓動する「ITT の心」があります。

「私たちは、このような偉大な資産と文化を持つ企業の一員であることを誇りに思います」

アニータ・ワン、Interconnect Solutions
カスタマーサービススペシャリスト
中国 深川

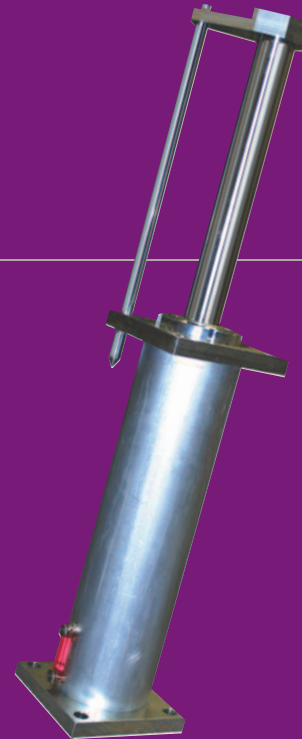




高度なエンジニアリング

エンジニアリングは
当社の中核です

エッフェル塔は、エンジニアリングの驚異の象徴です。その湾曲した脚により、高い風圧にも耐えられるようになっています。脚部に隠されたエレベーターは角度をつけながら上昇しますが、世界にただ一つの建造物とその乗客を保護する強力なカスタムショックアブソーバは ITT の設計者によって作成されました。この昇降するエレベーターを安全に減速することにより、すべての乗車が無事で忘れられない思い出となるようにしています。



新しい思考方法

製品一覧：

コネクタ
カプラーおよびコンタクト
高付加価値ケーブルハーネス
PC カード
ツールおよびアクセサリ

エンジニアリングされたプロセスポンプ
垂直タービンポンプ
スラリーポンプ
海水逆浸透システム
インテリジェントポンプ制御および監視システム
バイオ化学およびエンジニアリングバルブ

ノイズ減衰部品
衝撃遮断および防振部品
速度コントローラ
アクチュエータ
バルブ
ダンパー
モーション コントローラ
プラズマ カuttingおよびトーチ高
制御システム
スイッチおよびレギュレータ
サーボモーター
CNC システム
Visco- 弾性バンプ

ブレーキパッド
摩擦材料
バックプレート
Visco-弾性バンプ
ショックアブソーバおよびダンパー

ブランド名:

Cannon®
VEAM
BIW Connector Systems

Goulds® Pumps
A-C Pump
Pure-Flo®
ProSmart®
PRO Services®
PumpSmart®
C'Treat®
Fabri-Valve®
Dia-Flow®
Cam-Tite®

Enidine®
Enivate®
Cleveland Motion Controls®
Neo-Dyn®
Aerospace Controls
Torque Systems®
Cleveland-Kidder®
Compact Automation Products™
Turn-Act®
Jarret®
Kaliburn™
Burny®
Conoflow®

Jarret®
Galfer
KONI®

(4つの Value Center へ) 事業再編:

Interconnect Solutions

Industrial Process

Control Technologies

Motion Technologies

当社が参入に力を入れている 末端市場:

自動車

エネルギー・鉱業

産業プロセス

航空宇宙・防衛

一般産業

鉄道、バス、トラック

およびトレーラー

医療

当社製品のブランド名は、地元のガレージと小さな店で始まり、後にグローバルな ITT グループの一員となった事業を思い起こさせるものです。それらを誕生させ、ITT という企業に導いた革新と起業家の精神は、現在も幅広い末端市場に奉仕する最先端のニッチ プロバイダとしての私たちの役割の中で活発に息づいています。

「革新とは ITT の歴史を 貫く一本の 筋である」

ニューヨーク州セネカフォールズ、
Industrial Process R & D 部門の Gene
Sabini 主任エンジニア (右側、左は同僚の
Mark Playford 製品デザイナー)



日々の暮らしの中 における ITT の イノベーション

画期的な製品の革新がどこから来るのでしょうか?それは、懸命な努力によってのみ、少しずつやって来るものであるとエンジニアたちは言うでしょう。夢想的な事業家は、それは洞察の一瞬のひらめきによって現れると信じています。これらの説明はそのどちらにも真実があり、実際、ITT および当社がここ数年で買収した企業の人々は私たちの暮らしをより豊かにする数多くの素晴らしい重要な貢献と飛躍的な跳躍を達成してきました。

映画を 「聞く」 とき...

1927 年、Cannon
のエンジニアは映画スタジオの
音響装置用に、最初の複雑なマルチコンタクトプラグを開発しました。これにより最初の「トーキー」フィルムの制作が可能となり、後にすべての優れた映画の時代へとつながります。



カーブを曲がるとき...

2001年、ITT のエンジニアによって世界初の周波数選択性ダンピングショックアブゾーバが市場に送り出されました。この画期的な発明がされるまでは、優れたハンドル操作と乗り心地の両方を実現するショックアブゾーバは困難を極めていました。しかし、ITT の製品開発者たちはショック内でオイル流量を自動的に調節する方法を見出し、これによりドライバーは快適さを保ちながら道路を運転することができるようになりました。

プラントを稼動するとき...

1999 年、ITT のエンジニアは産業用ポンプ向けに世界初の真のインテリジェントフロー制御システムである PumpSmart® を開発しました。スマートな可変速ドライブを搭載したソフトウェアと組み合わせることで、PumpSmart はポンプの動作を連続的に監視し自動的に調節し、最大で 50 パーセントのエネルギー節約と空運転、低フロー、その他一般的な故障原因によって発生するブレーキダウンを削減します。

空を飛ぶとき...

2005 年、ITT のエンジニアは民間航空機の燃料タンクから潜在的な着火の発生源を取り除いたオプトアクチュエータを開発しました。このアクチュエータは開閉式で機体全体の燃料フローを制御し、当社の特許取得済みの光電子デバイスが電気の代わりに光を利用してアクチュエータのスイッチメカニズムにトリガを送ります。潜在的な着火の発生源を取り除いたことに加え、この光電子スイッチプロセスにより信頼性が向上しました。

コンピュータを操作するとき...

1952 年、Cannon のエンジニアによって D-sub コネクタが発明されました。これは業界初の多目的コネクタであり、瞬く間にコンピュータの標準コネクタとなりました。高い信頼性で電力および信号をコンピュータに送信する機能により、今でも世界中のあらゆるデスクトップやラップトップの重要な構成部品となっています。実際、このコネクタはどの時代においても最も広範に使用されています。

「すべての製造プロセスにはポンプが必要です。パルプ・製紙、石油、または化学業界のどれであろうと、ケチャップやビールを生産する工場であろうと、流体を移動するためにはポンプが必要であり、当社の製品はあらゆる用途に対してカスタム製造されています。」

Industrial Process 社長 Robert Pagano, Jr.
ニューヨーク州セネカフォールズ



深く掘削するとき...

1921年、Goulds Pumps のエンジニアは世界初のゴムライニング式スラリーポンプを製造し、これによって採鉱や石炭掘削プロセス中に発生する水、泥、および鉱石精鉱から成る粘性、研磨性の混合物を扱うことが可能となりました。

電車に乗るとき...

何年にもわたり、ITT および当社が買収した企業のエンジニアは地下鉄および通勤列車、機関車、および次世代高速鉄道のショックアブソーバ、バッファ、コネクタ、ケーブルアセンブリ、およびシートアクチュエータを含め、鉄道革新の最先端を走り続けています。ITT の画期的な発明は重要なアプリケーションにおける快適度、耐久性、信頼性、そして何よりも安全性を実現しています。



雲の上まで登るとき...

2007 年、Enidine のエンジニアは驚異的なグランドキャニオンスカイウォークのカスタムダンパーを開発しました。これは床を強化ガラスにした馬蹄形の展望橋であり、観光客は峡谷から高さ 3,800 フィートの場所を歩くことができます。これは世界で最も高所にある人工建造物です。この景色は高所恐怖症の人には向きませんが、ITT のダンパーによりこの展望橋は時速 100 マイルの風やマグニチュード 8 の地震にも耐えられます。

人類にとって偉大な一歩を踏み出したとき...

1960 年初期、Cannon のエンジニアは宇宙ミッションにおける構成部品の小型化のニーズに応えるために、初の「超小型コネクタ」を製造しました。この小型化は NASA のニーズを満たし、最初のカウントダウン以来 ITT のコネクタはアメリカの宇宙ミッションで使われています。

ポンプを稼動する必要があるとき...

1923 年、Goulds Pumps のエンジニアは世界初の自吸式遠心ポンプを開発しました。遠心ポンプが正常に動作するには、その「管」に液体を流す必要があります。ただし空気の扱いが厄介です。万一システムに混入した場合、ポンプが止まり、ユーザーは液体を追加して手動で「ポンプの呼び水作業」を行う必要があります。この発明によって、空気と水を混合し、手動で再起動する必要のない斬新な設計のポンプが製造されました。この革新的なデザインは、このプロセスにおける全く新しいポンプ市場を生み出しました。

「現在、
あなたが行っていることや使っているものは、ITT によって実現されたものです」

ITT Corporation 企業開発ディレクター
Denise Brower



フランクフルトにある Motion Technologies の R&D 施設にて、KONI ショックアブソーバのストレス試験を実施する試験装置。





ITT way

当社の 事業の 行い方

多くのアイデアがこのシンクタンクで生まれています。2010年に Motion Technologies R&D 施設がオープンした際、地理的拡張、顧客との距離、再生可能エネルギーによる稼働、従業員に活力を与えるオープンな作業環境など、現在の当社の経営哲学の最前線に存在するイニシアチブの多くが取り込まれました。

グローバル



グリーン



リーン



真実

当社は、五大陸の
125 カ国以上で販
売・サービスを提供
し 15 カ国以上で大
規模な事業を展開。

環境持続可能性の
あらゆる面におい
て、より良いこと
を行おうと日々
邁進。

価値に基づいたリー
ン/シックスシグマによ
り、世界中のプラント
および事業所で継
続的な改善を実現。

正しい方向に導かれ、敬意、責任、
誠実という当社の
基本的価値に忠実
であり続ける。

真にグローバルである

当社のコネクタ事業部はカリフォルニア州を拠点としていますが、その製品はインドのロケット、ヨーロッパの鉄道、そして中国のスマートフォンに搭載されています。ニューヨーク州北部で発明された当社の産業用ポンプは、現在ブラジル、中国、インド、およびその他の新興市場で需要を増しています。イタリアで誕生した当社の摩擦技術事業は、ヨーロッパ、北米、南米、韓国、そして中国の自

動車メーカーおよびその他の顧客に向けて 1 日に 12 万もの摩擦パッドを売り上げるグローバルなプロバイダに成長しました。

わたしたちはあらゆる場所にいます。私たちはお客様が必要とするあらゆる場所にいます。

さらに、私たちは毎日世界の様々な場所で拡張を続けています。ドイツの新しいブレーキパッド・ショックアブソーバ R&D 施設、チェコの生産プラント、インドの最先端のポンプ製造プラントおよび技術センター、ブラジルのポンププラントの新規買収、韓国のコネクタ代理店の新しい完全子会社化などがその一例です。

ITT は多業種企業であり、最も困難で重要な問題を解決するため、高度にカスタマイズされたソリューションを求める世界中のお客様に向けて 1 つのメッセージを複数の言語で発信します:

No problem. 没问题

Kein problem. *Nessun*

problema. No hay problema.

Sem problemas.

Žádný problém. Sorun yok.

Geen probleem.

「長年にわたり、最近では中国、インド、ブラジルへの拡張を通して、当社の事業はよりグローバルな成長を続けています」

Control Technologies 製品マネージャー、
Gregory Herman
ニューヨーク州オーチャードパーク



環境に配慮した考え方

私たちは環境への影響を少なくするために作業のやり方を改善し、できることを行う責任があります。

これが、当社がブレーキパッド摩擦材料の生産に使用するために、エネルギー消費を削減し従来のスコーチ方式よりも少ない炭素含有量のすずを生成する赤外線技術を開発した理由です。

このため、当社は埋立地に廃棄される油、鉄鋼、およびクロムめっきの量を削減するため、レールダンパーのリサイクルプログラムを開発しました。このため、当社はエネルギー消費を削減するポンプ監視・制御システムを開発し、生分解性油および RoHS 指令適合のベアリングを使用したショックアブゾーバを製造しています。

このため、当社は中国のあるサイトではソーラーパネルを設置し、またイタリアのあるプラントでは熱回収コジェネレーションシステムを構築し、ニューヨークの世界本社ビルでは節電照明・冷房システムを採用しました。

これらは ITT の組織全体で実施されている「環境に配慮した考え方」のほんの一例です。この他にも私たちにできることは数多くあります。私たちは今後数年間のうちに実現するでしょう。

「私たちは、環境への責任は価値を創造する企業としての当社のスチュワードシップの一環であると確信しており、当社ができることすべてにおいて第二の天性にしたいと考えています」

Control Technologies 社長、
Munish Nanda
カリフォルニア州バレンシア





「当社では、無駄を
省いた考え方は文化
の一部であり、無
駄を省いた行動
は当社の情熱
です」

Motion Technologies、Piero
Bruno 民間輸送部門バイスプレ
ジデント
イタリア、バルジェ

リーン生産 方式を信じる

リーンの性質は禅に似ています、これは、非常に多様なレベルで意味をなすので、ITT の従業員はこの「少ないもので多くを得る」精神を受け入れています。

プロセスを簡素化し、無駄を削減し、最も効率的な方法を見つけて作業を行うことにより、私たちは高度に技術化されたソリューションを記録的な早さでプラント全体に導入し、それを少しの遅れもなくお客様に提供することができます。

リーン方式はプロセスを最も熟知している人々、つまり最前線の作業員や管理者が、当社の生産フロー、品質管理、後方業務に関する手順を継続的に改善する方法について最も大きな意見を言えるようにします。今や製品の組み立てセルの再設定や出荷プロセス再設計は不可欠な作業であり、余分な作業ではありません。

リーン方式により、当社の作業環境はよりクリーンで明るく、より安全で活気に満ちたものとなっています。煩わしさと無駄を少なくする努力により、当社の施設全体に前向きな活力が満ち溢れています。ITT の従業員は自分の仕事を楽しみ、ITT のお客様はその結果を認識しています。

当社の価値に 忠実である

ITT は思いやりのある企業です。当社はアットホームな環境から始まり、そこで当社は多くの優れた方法を用いてオープンで透明性のある環境を創造してきました。敬意、責任、誠実という当社の基本的価値の指針により、当社の従業員は提案を行ったり懸念を表明する権利が与えられています。そして上層部は、それを受け入れ積極的に耳を傾けることが、人々のやる気を起こし目標に到達するための正しい方法であることを知っています、

ITT の価値は当社の事業の壁を超えて拡張します。私たちはお客様に対して公平かつ正直であると信じています。

そして重要な方法で私たちのコミュニティと関わる企業市民としての取り組みを幅広く追求しています。チェコのアストラヴァでは、重度の身体障害や精神障害を負った子供たちを支援する近隣の施設で当社の従業員が庭師や塗装工としてボランティア活動を行っています。



中国深川では、ポリ袋による「白い公害」を削減するために、従業員が街に出て洗濯可能で再使用、再利用可能な布製のショッピングバッグを配布しています。

ニューヨーク州セネカフォールズでは、当社の産業用ポンプ事業とアメリカ女性権利運動がともに 1948 年に始まったこともあり、当社は優れた功績を達成した女性を称えるための全米女性殿堂の創立スポンサーになっています。

多様なコミュニティベースの取り組みに共通したきっかけはありませんが、ただ 1 つ共通しているのはそれが当社の価値を反映し ITT の従業員が参加しているという事実です。そして、それがおそらくすべての最適な説明です。

「私が若い頃納屋で火事があり、Goulds Pumps の全従業員がボランティアの消防士でした。現在、Goulds 社は ITT の一部となりましたが、私たちの町と企業はそれでも互いに関わりを維持しています。私たちは共に前進しています」

セネカフォールズ歴史協会研修
ディレクター、Frances T. Barbieri
ニューヨーク州セネカフォールズ





次へ
未来は
それが
やって来ると
期待する人の
ものである。



次世代の自動車の兆しが見えています。現在、世界で販売されている車の 100 台に 1 台が、より静かでクリーンに走行するハイブリッド車または電気自動車です。2020 年までにその数は 10 台に 1 台に近づく予想されます。ITT では、その技術革命と歩調を合わせ、電気自動車の充電ステーション用のケーブルハーネスおよびコネクタを製造し、安全な停止機能と騒音の抑制を実現する新品種のブレーキパッドを設計しています。

これから やって来る ものの形

当社は 160 年にわたる
成功の歴史があり、
将来に向けて
よりスマートに
前進し続ける基本的な
強みがあります。

◆ 当社は困難な課題に
立ち向かい、失敗するコ
ストの高い最も難しい技
術的な問題にも取り組み
ます。

◆ 当社は高摩耗、過酷か
つ重要なアプリケーション
のためのソリューションを
創造します。

◆ 当社は、私たちの現代
的な暮らし方に中核となって
貢献している主要業界の成功
を実現します。

◆ 当社は成長産業に的を絞り、それらに高価値、専門的なソリューションを提供します。

◆ 当社は、選ばれた分野の専門家であり実践的な問題解決者でもあります。

◆ 当社はお客様の問題を理解することを重視し、お客様がそれを依頼する前に必要なものを予測しようと努めています。

◆ 当社はグローバルな市場で事業展開していますが、基本的価値によって1つに統合された企業として活動します。

◆ 当社はそれぞれのお客様独自の状況に合わせて高度に技術化され、高度にカスタマイズされたソリューションを提供します。

◆ 当社は、お客様が信頼を寄せられる耐久性ある永続的なソリューションを提供します。

◆ 当社は、当社が行うことすべてをサポートします。

◆ 当社はグローバルに展開し認識されている企業やブランドを所有しています。

◆ 当社は、新興する中産階級、資源不足、そして都市化の急増など、私たちすべてに影響を及ぼす世界の主要なトレンドおよび動向に沿った製品を製造します。

そして、当社は敬意、責任、誠実をもって、お客様の期待を超えるものを提供することに重点を置いてすべてのことを行います。

不朽のインパクト

当社の Goulds ブランドのポンプが中国の紫禁城に設置されてから 100 年以上経った今も、ITT はその国における存在感を維持し、この重要な新興市場で成長するために有利な立場を維持しています。

500年にわたり中国皇帝の宮殿として使われ、その後博物館となった紫禁城を訪れる機会があったら、広場の中央に金属製の手動ポンプを見つけることができるでしょう。このポンプは他の多くの建物に比べて現代的に見えますが、それでも過去の時代の遺産なのです。近くに寄って見ると、何年も前にニューヨーク州セネカフォールズで製造された Goulds Pumps 社の製品であることが分かります。

現在、Goulds 社は ITT の一部となりましたが、私たちは引き続きセネカフォールズでポンプを生産しています。この時代の手動ポンプのように、当社の現在の産業用ポンプは時代の最先端の技術の賜物 – スマートで効率的、しかも強力かつ堅牢さを誇ります。

これが ITT を貫く一本の筋です。当社は過去に束縛されることなく繋がっています。90年以上の歳月を経て、ITT に加わった事業と人々は、現在、世界中のお客様に評価されエンドユーザーに期待される高度に技術化されたソリューションを提供する1つの企業体に集結しました。

ITT にはそれを定義する特別な精神が存在します。当社の従業員は継続的に前を見つめ、次世代、そのまた次の世代に持続的なインパクトを与える画期的なコンポーネントやパーツを製造する方法を見つけようと努力しています。

この過程で、彼らは将来の事業を構築しているのです。

2011年の再編に伴い、当社はその事業の歴史的遺産に大胆でエキサイティングなパートを追加し、新たな成長の時代を迎えました。これがまさに今始まろうとしています。これがパート1、そしてさらに多くのことがやって来るでしょう。

「ITT はさらに大きな企業へと成長しています。当社の従業員はレーザーのように極めて正確に成長に焦点を絞り、引き続きお客様を成功に導く製品を生産するでしょう」

ITT Corporation 人事部マネージャー、
Amy Taney
ニューヨーク州セネカフォールズ



A close-up photograph of a human hand with the index finger pointing upwards. The finger is positioned directly over a circular button that has the letters 'ITT' printed on it. The background is a plain, light-colored wall.

ITT

とは活動を意味する言葉

つまり...

成長

成功

満足

拡張

解決

導く

そして長期間継続すること

かくして当社は「*Engineered for life*」なのであります。



ENGINEERED FOR LIFE

ITT Corporation
1133 Westchester Avenue
White Plains, NY 10604
www.itt.com